

ビジネス実務法務検定試験3級 - 契約の締結・履行

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q001 BL3-005

契約の締結・履行 / 委任契約 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
委任は、法律行為をすることを相手方に委託する契約である。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい
超簡単な解説：準委任は事務処理の委託に用いられる。
要点：委任契約

Q002 BL3-006

契約の締結・履行 / 錯誤 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
錯誤があっても、契約は常に絶対に取り消せない。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り
超簡単な解説：錯誤取消しには要件がある。
要点：錯誤

Q003 BL3-018

契約の締結・履行 / 契約自由の原則 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
契約は、すべて行政庁の許可がなければ成立しない。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り
超簡単な解説：ただし強行法規・公序良俗・消費者保護などの制限がある。
要点：契約自由の原則

Q004 BL3-019

契約の締結・履行 / 同時履行の抗弁 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
双務契約では、相手の履行があるまで自己の履行を拒める場合がある。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい
超簡単な解説：売買代金と目的物引渡しなどで問題となる。
要点：同時履行の抗弁

Q005 BL3-020

契約の締結・履行 / 詐欺 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
詐欺による契約でも、被害者は常に取り消せない。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り
超簡単な解説：相手方や第三者詐欺の扱いに注意する。
要点：詐欺

ビジネス実務法務検定試験3級 - 契約の締結・履行

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q006 BL3-032

契約の締結・履行 / 申込み / 形式：○×

次の記述は正しいか。
申込みは、相手方に届かなくても必ず契約を成立させる。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り

超簡単な解説：契約成立には申込みと承諾の合致が必要である。

要点：申込み

Q007 BL3-033

契約の締結・履行 / 債務不履行 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
債務者が契約上の義務を履行しない場合、債務不履行責任が問題となる。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい

超簡単な解説：履行遅滞・履行不能・不完全履行などがある。

要点：債務不履行

Q008 BL3-034

契約の締結・履行 / 強迫 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
強迫による意思表示は、被害者の保護対象にならない。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り

超簡単な解説：強迫は自由な意思決定を害するため取消しが認められる。

要点：強迫

Q009 BL3-046

契約の締結・履行 / 承諾 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
承諾は、申込みと内容が違っていても常に契約を成立させる。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り

超簡単な解説：内容を変更した承諾は新たな申込みと扱われることがある。

要点：承諾

Q010 BL3-047

契約の締結・履行 / 履行遅滞 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
履行期に履行可能なのに履行しない場合、履行遅滞が問題となる。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい

超簡単な解説：履行遅滞では損害賠償や解除が問題となる。

要点：履行遅滞

ビジネス実務法務検定試験3級 - 契約の締結・履行

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q011 BL3-060

契約の締結・履行 / 売買契約 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
売買契約では、買主に代金支払義務は発生しない。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り

超簡単な解説：売買は典型契約の一つである。

要点：売買契約

Q012 BL3-061

契約の締結・履行 / 契約不適合責任 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
売買目的物が契約内容に適合しない場合、買主は追完請求などを検討できる。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい

超簡単な解説：追完、代金減額、損害賠償、解除が問題となる。

要点：契約不適合責任

Q013 BL3-074

契約の締結・履行 / 賃貸借契約 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
賃貸借では、借主は賃料を支払う必要がない。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り

超簡単な解説：不動産賃貸借などで重要である。

要点：賃貸借契約

Q014 BL3-075

契約の締結・履行 / 危険負担 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
契約成立後の目的物滅失などで、当事者の負担が問題となる。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい

超簡単な解説：改正民法では履行拒絶などとの関係で整理される。

要点：危険負担

Q015 BL3-088

契約の締結・履行 / 請負契約 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
請負では、仕事の完成は契約上まったく問題とならない。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り

超簡単な解説：建築・制作などで用いられる典型契約である。

要点：請負契約

ビジネス実務法務検定試験3級 - 契約の締結・履行

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q016 BL3-089

契約の締結・履行 / 定型約款 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
定型約款は、多数取引に用いる定型的な契約条項である。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい
超簡単な解説：組入れ要件や不当条項の扱いが重要である。
要点：定型約款

Q017 BL3-102

契約の締結・履行 / 委任契約 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
委任は、必ず物の所有権を移転する契約である。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り
超簡単な解説：準委任は事務処理の委託に用いられる。
要点：委任契約

Q018 BL3-103

契約の締結・履行 / 錯誤 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
重要な錯誤がある意思表示は、一定の場合に取り消すことができる。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい
超簡単な解説：錯誤取消しには要件がある。
要点：錯誤

Q019 BL3-115

契約の締結・履行 / 契約自由の原則 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
契約は、内容・相手方・方式などを原則として自由に決められる。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい
超簡単な解説：ただし強行法規・公序良俗・消費者保護などの制限がある。
要点：契約自由の原則

Q020 BL3-116

契約の締結・履行 / 同時履行の抗弁 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
双務契約では、相手が履行しなくても常に先に履行しなければならない。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り
超簡単な解説：売買代金と目的物引渡しなどで問題となる。
要点：同時履行の抗弁

ビジネス実務法務検定試験3級 - 契約の締結・履行

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q021 BL3-117

契約の締結・履行 / 詐欺 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
詐欺による意思表示は、取り消すことができる。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい
超簡単な解説：相手方や第三者詐欺の扱いに注意する。
要点：詐欺

Q022 BL3-129

契約の締結・履行 / 申込み / 形式：○×

次の記述は正しいか。
申込みは、承諾があれば契約を成立させる意思表示である。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい
超簡単な解説：契約成立には申込みと承諾の合致が必要である。
要点：申込み

Q023 BL3-130

契約の締結・履行 / 債務不履行 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
債務を履行しなくても、契約責任は一切発生しない。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り
超簡単な解説：履行遅滞・履行不能・不完全履行などがある。
要点：債務不履行

Q024 BL3-131

契約の締結・履行 / 強迫 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
強迫による意思表示は、取り消すことができる。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい
超簡単な解説：強迫は自由な意思決定を害するため取消しが認められる。
要点：強迫

Q025 BL3-143

契約の締結・履行 / 承諾 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
承諾は、申込みを受け入れる意思表示である。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい
超簡単な解説：内容を変更した承諾は新たな申込みと扱われることがある。
要点：承諾

ビジネス実務法務検定試験3級 - 契約の締結・履行

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q026 BL3-144

契約の締結・履行 / 履行遅滞 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
履行不能の場合も、必ず履行遅滞だけが成立する。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り

超簡単な解説：履行遅滞では損害賠償や解除が問題となる。

要点：履行遅滞

Q027 BL3-157

契約の締結・履行 / 売買契約 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
売買契約では、売主が財産権を移転し、買主が代金を支払う。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：正しい

超簡単な解説：売買は典型契約の一つである。

要点：売買契約

Q028 BL3-158

契約の締結・履行 / 契約不適合責任 / 形式：○×

次の記述は正しいか。
契約不適合があっても、買主は常に一切の救済を受けられない。

1. 正しい
2. 誤り

答え・解説

正答：誤り

超簡単な解説：追完、代金減額、損害賠償、解除が問題となる。

要点：契約不適合責任

Q029 BL3-174

契約の締結・履行 / 承諾 / 形式：2択

次のうち、「承諾」について正しい説明はどちらか。

1. 景品表示法は、企業の広告表示とは一切関係がない。
2. 承諾は、申込みを受け入れる意思表示である。

答え・解説

正答：承諾は、申込みを受け入れる意思表示である。

超簡単な解説：内容を変更した承諾は新たな申込みと扱われることがある。

要点：承諾

Q030 BL3-175

契約の締結・履行 / 履行遅滞 / 形式：2択

次のうち、「履行遅滞」について正しい説明はどちらか。

1. 履行期に履行可能なのに履行しない場合、履行遅滞が問題となる。
2. ライセンス契約では、権利者の利用許諾は一切問題とならない。

答え・解説

正答：履行期に履行可能なのに履行しない場合、履行遅滞が問題となる。

超簡単な解説：履行遅滞では損害賠償や解除が問題となる。

要点：履行遅滞

ビジネス実務法務検定試験3級 - 契約の締結・履行

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q031 BL3-188

契約の締結・履行 / 売買契約 / 形式：2択

次のうち、「売買契約」について正しい説明はどちらか。

1. 職場のハラスメントは、企業の法的リスクと一切関係しない。
2. 売買契約では、売主が財産権を移転し、買主が代金を支払う。

答え・解説

正答：売買契約では、売主が財産権を移転し、買主が代金を支払う。
超簡単な解説：売買は典型契約の一つである。

要点：売買契約

Q032 BL3-189

契約の締結・履行 / 契約不適合責任 / 形式：2択

次のうち、「契約不適合責任」について正しい説明はどちらか。

1. 売買目的物が契約内容に適合しない場合、買主は追完請求などを検討できる。
2. ライセンス契約では、権利者の利用許諾は一切問題とならない。

答え・解説

正答：売買目的物が契約内容に適合しない場合、買主は追完請求などを検討できる。

超簡単な解説：追完、代金減額、損害賠償、解除が問題となる。

要点：契約不適合責任

Q033 BL3-202

契約の締結・履行 / 賃貸借契約 / 形式：2択

次のうち、「賃貸借契約」について正しい説明はどちらか。

1. 契約は、すべて行政庁の許可がなければ成立しない。
2. 賃貸借では、貸主が物を使用収益させ、借主が賃料を支払う。

答え・解説

正答：賃貸借では、貸主が物を使用収益させ、借主が賃料を支払う。
超簡単な解説：不動産賃貸借などで重要である。

要点：賃貸借契約

Q034 BL3-203

契約の締結・履行 / 危険負担 / 形式：2択

次のうち、「危険負担」について正しい説明はどちらか。

1. 契約成立後の目的物滅失などで、当事者の負担が問題となる。
2. 定款は、会社設立後には一切意味を持たない。

答え・解説

正答：契約成立後の目的物滅失などで、当事者の負担が問題となる。
超簡単な解説：改正民法では履行拒絶などとの関係で整理される。

要点：危険負担

Q035 BL3-216

契約の締結・履行 / 請負契約 / 形式：2択

次のうち、「請負契約」について正しい説明はどちらか。

1. 消費者契約法は、事業者同士の国際売買だけを対象とする法律である。
2. 請負では、仕事の完成と報酬支払が中心となる。

答え・解説

正答：請負では、仕事の完成と報酬支払が中心となる。
超簡単な解説：建築・制作などで用いられる典型契約である。

要点：請負契約

ビジネス実務法務検定試験3級 - 契約の締結・履行

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q036 BL3-217

契約の締結・履行 / 定型約款 / 形式：2択

次のうち、「定型約款」について正しい説明はどちらか。

1. 定型約款は、多数取引に用いる定型的な契約条項である。
2. 定款は、会社設立後には一切意味を持たない。

答え・解説

正答：定型約款は、多数取引に用いる定型的な契約条項である。

超簡単な解説：組入れ要件や不当条項の扱いが重要である。

要点：定型約款

Q037 BL3-230

契約の締結・履行 / 委任契約 / 形式：2択

次のうち、「委任契約」について正しい説明はどちらか。

1. 職場のハラスメントは、企業の法的リスクと一切関係しない。
2. 委任は、法律行為をすることを相手方に委託する契約である。

答え・解説

正答：委任は、法律行為をすることを相手方に委託する契約である。

超簡単な解説：準委任は事務処理の委託に用いられる。

要点：委任契約

Q038 BL3-231

契約の締結・履行 / 錯誤 / 形式：2択

次のうち、「錯誤」について正しい説明はどちらか。

1. 重要な錯誤がある意思表示は、一定の場合に取り消すことができる。
2. 強迫による意思表示は、被害者の保護対象にならない。

答え・解説

正答：重要な錯誤がある意思表示は、一定の場合に取り消すことができる。

超簡単な解説：錯誤取消しには要件がある。

要点：錯誤

Q039 BL3-243

契約の締結・履行 / 契約自由の原則 / 形式：2択

次のうち、「契約自由の原則」について正しい説明はどちらか。

1. 契約は、内容・相手方・方式などを原則として自由に決められる。
2. 不動産売買では、登記は第三者との関係で一切意味を持たない。

答え・解説

正答：契約は、内容・相手方・方式などを原則として自由に決められる。

超簡単な解説：ただし強行法規・公序良俗・消費者保護などの制限がある。

要点：契約自由の原則

Q040 BL3-244

契約の締結・履行 / 同時履行の抗弁 / 形式：2択

次のうち、「同時履行の抗弁」について正しい説明はどちらか。

1. 使用者は、理由なくいつでも自由に解雇できる。
2. 双務契約では、相手の履行があるまで自己の履行を拒める場合がある。

答え・解説

正答：双務契約では、相手の履行があるまで自己の履行を拒める場合がある。

超簡単な解説：売買代金と目的物引渡しなどで問題となる。

要点：同時履行の抗弁

ビジネス実務法務検定試験3級 - 契約の締結・履行

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q041 BL3-245

契約の締結・履行 / 詐欺 / 形式：2択

次のうち、「詐欺」について正しい説明はどちらか。

1. 詐欺による意思表示は、取り消すことができる。
2. 年次有給休暇は、法律上での労働者にも一切付与されない。

答え・解説

正答：詐欺による意思表示は、取り消すことができる。

超簡単な解説：相手方や第三者詐欺の扱いに注意する。

要点：詐欺

Q042 BL3-257

契約の締結・履行 / 申込み / 形式：2択

次のうち、「申込み」について正しい説明はどちらか。

1. 申込みは、承諾があれば契約を成立させる意思表示である。
2. 紛争は、常に裁判以外の方法で解決できない。

答え・解説

正答：申込みは、承諾があれば契約を成立させる意思表示である。

超簡単な解説：契約成立には申込みと承諾の合致が必要である。

要点：申込み

Q043 BL3-258

契約の締結・履行 / 債務不履行 / 形式：2択

次のうち、「債務不履行」について正しい説明はどちらか。

1. 強行規定は、当事者が合意すれば自由に排除できる。
2. 債務者が契約上の義務を履行しない場合、債務不履行責任が問題となる。

答え・解説

正答：債務者が契約上の義務を履行しない場合、債務不履行責任が問題となる。

超簡単な解説：履行遅滞・履行不能・不完全履行などがある。

要点：債務不履行

Q044 BL3-259

契約の締結・履行 / 強迫 / 形式：2択

次のうち、「強迫」について正しい説明はどちらか。

1. 強迫による意思表示は、取り消すことができる。
2. 株式会社では、どのような濫用があっても法人格否認はあり得ない。

答え・解説

正答：強迫による意思表示は、取り消すことができる。

超簡単な解説：強迫は自由な意思決定を害するため取消しが認められる。

要点：強迫

Q045 BL3-271

契約の締結・履行 / 承諾 / 形式：2択

次のうち、「承諾」について正しい説明はどちらか。

1. 承諾は、申込みを受け入れる意思表示である。
2. 少額訴訟は、すべての複雑な国際紛争に無制限で使える。

答え・解説

正答：承諾は、申込みを受け入れる意思表示である。

超簡単な解説：内容を変更した承諾は新たな申込みと扱われることがある。

要点：承諾

ビジネス実務法務検定試験3級 - 契約の締結・履行

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q046 BL3-272

契約の締結・履行 / 履行遅滞 / 形式：2択

次のうち、「履行遅滞」について正しい説明はどちらか。

1. 使用者は、労働者に何時間でも無制限に働かせることができる。
2. 履行期に履行可能なのに履行しない場合、履行遅滞が問題となる。

答え・解説

正答：履行期に履行可能なのに履行しない場合、履行遅滞が問題となる。
超簡単な解説：履行遅滞では損害賠償や解除が問題となる。

要点：履行遅滞

Q047 BL3-285

契約の締結・履行 / 売買契約 / 形式：2択

次のうち、「売買契約」について正しい説明はどちらか。

1. 売買契約では、売主が財産権を移転し、買主が代金を支払う。
2. 使用者は、理由なくいつでも自由に解雇できる。

答え・解説

正答：売買契約では、売主が財産権を移転し、買主が代金を支払う。
超簡単な解説：売買は典型契約の一つである。

要点：売買契約

Q048 BL3-286

契約の締結・履行 / 契約不適合責任 / 形式：2択

次のうち、「契約不適合責任」について正しい説明はどちらか。

1. 強迫による意思表示は、被害者の保護対象にならない。
2. 売買目的物が契約内容に適合しない場合、買主は追完請求などを検討できる。

答え・解説

正答：売買目的物が契約内容に適合しない場合、買主は追完請求などを検討できる。

超簡単な解説：追完、代金減額、損害賠償、解除が問題となる。

要点：契約不適合責任

Q049 BL3-299

契約の締結・履行 / 賃貸借契約 / 形式：2択

次のうち、「賃貸借契約」について正しい説明はどちらか。

1. 賃貸借では、貸主が物を使用収益させ、借主が賃料を支払う。
2. 株式会社では、どのような濫用があっても法人格否認はあり得ない。

答え・解説

正答：賃貸借では、貸主が物を使用収益させ、借主が賃料を支払う。
超簡単な解説：不動産賃貸借などで重要である。

要点：賃貸借契約

Q050 BL3-300

契約の締結・履行 / 危険負担 / 形式：2択

次のうち、「危険負担」について正しい説明はどちらか。

1. 契約は、すべて行政庁の許可がなければ成立しない。
2. 契約成立後の目的物滅失などで、当事者の負担が問題となる。

答え・解説

正答：契約成立後の目的物滅失などで、当事者の負担が問題となる。
超簡単な解説：改正民法では履行拒絶などとの関係で整理される。

要点：危険負担

ビジネス実務法務検定試験3級 - 契約の締結・履行

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q051 BL3-313

契約の締結・履行 / 請負契約 / 形式：2択

次のうち、「請負契約」について正しい説明はどちらか。

1. 請負では、仕事の完成と報酬支払が中心となる。
2. 所有権は、他人の物を借りる権利にすぎない。

答え・解説

正答：請負では、仕事の完成と報酬支払が中心となる。
超簡単な解説：建築・制作などで用いられる典型契約である。
要点：請負契約

Q052 BL3-314

契約の締結・履行 / 定型約款 / 形式：2択

次のうち、「定型約款」について正しい説明はどちらか。

1. 所有権は、他人の物を借りる権利にすぎない。
2. 定型約款は、多数取引に用いる定型的な契約条項である。

答え・解説

正答：定型約款は、多数取引に用いる定型的な契約条項である。
超簡単な解説：組入れ要件や不当条項の扱いが重要である。
要点：定型約款

Q053 BL3-327

契約の締結・履行 / 委任契約 / 形式：2択

次のうち、「委任契約」について正しい説明はどちらか。

1. 委任は、法律行為をすることを相手方に委託する契約である。
2. クーリング・オフは、すべての売買契約に無期限で認められる。

答え・解説

正答：委任は、法律行為をすることを相手方に委託する契約である。
超簡単な解説：準委任は事務処理の委託に用いられる。
要点：委任契約

Q054 BL3-328

契約の締結・履行 / 錯誤 / 形式：2択

次のうち、「錯誤」について正しい説明はどちらか。

1. 復代理人は、本人とは一切法律関係を持たない。
2. 重要な錯誤がある意思表示は、一定の場合に取り消すことができる。

答え・解説

正答：重要な錯誤がある意思表示は、一定の場合に取り消すことができる。
超簡単な解説：錯誤取消しには要件がある。
要点：錯誤

Q055 BL3-339

契約の締結・履行 / 賃貸借契約 / 形式：4択

次のうち、「賃貸借契約」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 危険負担は、契約関係では一切問題とならない。
2. 賃貸借では、貸主が物を使用収益させ、借主が賃料を支払う。
3. 特許権は、単なる商号だけを保護する権利である。
4. 保証人は、主たる債務者と無関係に常に無責任である。

答え・解説

正答：賃貸借では、貸主が物を使用収益させ、借主が賃料を支払う。
超簡単な解説：不動産賃貸借などで重要である。
要点：賃貸借契約

ビジネス実務法務検定試験3級 - 契約の締結・履行

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q056 BL3-340

契約の締結・履行 / 危険負担 / 形式：4択

次のうち、「危険負担」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. ライセンス契約では、権利者の利用許諾は一切問題とならない。
2. 契約成立後の目的物滅失などで、当事者の負担が問題となる。
3. 売買契約では、買主に代金支払義務は発生しない。
4. 強行規定は、当事者が合意すれば自由に排除できる。

答え・解説

正答：契約成立後の目的物滅失などで、当事者の負担が問題となる。
超簡単な解説：改正民法では履行拒絶などとの関係で整理される。
要点：危険負担

Q057 BL3-353

契約の締結・履行 / 請負契約 / 形式：4択

次のうち、「請負契約」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 代表者が会社名で契約しても、効果は常に代表者個人に帰属する。
2. 就業規則は、従業員が何人いても法律上作成できない。
3. 相殺は、金銭債権同士でも絶対にできない。
4. 請負では、仕事の完成と報酬支払が中心となる。

答え・解説

正答：請負では、仕事の完成と報酬支払が中心となる。
超簡単な解説：建築・制作などで用いられる典型契約である。
要点：請負契約

Q058 BL3-354

契約の締結・履行 / 定型約款 / 形式：4択

次のうち、「定型約款」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 強迫による意思表示は、被害者の保護対象にならない。
2. 定型約款は、多数取引に用いる定型的な契約条項である。
3. 労働者が同意すれば、最低賃金を下回る賃金契約は常に有効である。
4. 年次有給休暇は、法律上どの労働者にも一切付与されない。

答え・解説

正答：定型約款は、多数取引に用いる定型的な契約条項である。
超簡単な解説：組入れ要件や不当条項の扱いが重要である。
要点：定型約款

Q059 BL3-367

契約の締結・履行 / 委任契約 / 形式：4択

次のうち、「委任契約」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 株主総会は、株式会社では存在してはならない機関である。
2. 委任は、法律行為をすることを相手方に委託する契約である。
3. 紛争は、常に裁判以外の方法で解決できない。
4. ライセンス契約では、権利者の利用許諾は一切問題とならない。

答え・解説

正答：委任は、法律行為をすることを相手方に委託する契約である。
超簡単な解説：準委任は事務処理の委託に用いられる。
要点：委任契約

Q060 BL3-368

契約の締結・履行 / 錯誤 / 形式：4択

次のうち、「錯誤」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 商号は、個人名以外には法律上認められない。
2. 売買契約では、買主に代金支払義務は発生しない。
3. 詐欺による契約でも、被害者は常に取り消せない。
4. 重要な錯誤がある意思表示は、一定の場合に取り消すことができる。

答え・解説

正答：重要な錯誤がある意思表示は、一定の場合に取り消すことができる。
超簡単な解説：錯誤取消しには要件がある。
要点：錯誤

ビジネス実務法務検定試験3級 - 契約の締結・履行

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q061 BL3-380

契約の締結・履行 / 契約自由の原則 / 形式：4択

次のうち、「契約自由の原則」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 債務を履行しなくても、契約責任は一切発生しない。
2. 保証人は、主たる債務者と無関係に常に無責任である。
3. 連帯保証人は、催告の抗弁権と検索の抗弁権を常に行使できる。
4. 契約は、内容・相手方・方式などを原則として自由に決められる。

答え・解説

正答：契約は、内容・相手方・方式などを原則として自由に決められる。
超簡単な解説：ただし強行法規・公序良俗・消費者保護などの制限がある。
要点：契約自由の原則

Q062 BL3-381

契約の締結・履行 / 同時履行の抗弁 / 形式：4択

次のうち、「同時履行の抗弁」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 特許権は、単なる商号だけを保護する権利である。
2. 双務契約では、相手の履行があるまで自己の履行を拒める場合がある。
3. 労働契約では、使用者に賃金支払義務はない。
4. 権利者であれば、どのような目的でも権利行使は常に認められる。

答え・解説

正答：双務契約では、相手の履行があるまで自己の履行を拒める場合がある。
超簡単な解説：売買代金と目的物引渡しなどで問題となる。
要点：同時履行の抗弁

Q063 BL3-382

契約の締結・履行 / 詐欺 / 形式：4択

次のうち、「詐欺」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 詐欺による意思表示は、取り消すことができる。
2. 消費者契約法は、事業者同士の国際売買だけを対象とする法律である。
3. 動産の所有権移転では、引渡しはどの場面でも無意味である。
4. 業務上の災害でも、労災保険は一切関係しない。

答え・解説

正答：詐欺による意思表示は、取り消すことができる。
超簡単な解説：相手方や第三者詐欺の扱いに注意する。
要点：詐欺

Q064 BL3-394

契約の締結・履行 / 申込み / 形式：4択

次のうち、「申込み」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 実用新案権は、文学作品を保護する権利である。
2. 職場のハラスメントは、企業の法的リスクと一切関係しない。
3. 著作権は、単なるアイデアそのものを常に保護する。
4. 申込みは、承諾があれば契約を成立させる意思表示である。

答え・解説

正答：申込みは、承諾があれば契約を成立させる意思表示である。
超簡単な解説：契約成立には申込みと承諾の合致が必要である。
要点：申込み

Q065 BL3-395

契約の締結・履行 / 債務不履行 / 形式：4択

次のうち、「債務不履行」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 弁済しても、債務は絶対に消滅しない。
2. 債務者が契約上の義務を履行しない場合、債務不履行責任が問題となる。
3. 申込みは、相手方に届かなくても必ず契約を成立させる。
4. 債権は、法律上どのような場合も絶対に譲渡できない。

答え・解説

正答：債務者が契約上の義務を履行しない場合、債務不履行責任が問題となる。
超簡単な解説：履行遅滞・履行不能・不完全履行などがある。
要点：債務不履行

ビジネス実務法務検定試験3級 - 契約の締結・履行

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q066 BL3-396

契約の締結・履行 / 強迫 / 形式：4択

次のうち、「強迫」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 申込みは、相手方に届かなくても必ず契約を成立させる。
2. 自然人は成年に達しなければ権利能力を取得しない。
3. 売買契約では、買主に代金支払義務は発生しない。
4. 強迫による意思表示は、取り消すことができる。

答え・解説

正答：強迫による意思表示は、取り消すことができる。

超簡単な解説：強迫は自由な意思決定を害するため取消しが認められる。

要点：強迫

Q067 BL3-408

契約の締結・履行 / 承諾 / 形式：4択

次のうち、「承諾」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 請負では、仕事の完成は契約上まったく問題とならない。
2. 製造物責任では、製造物の欠陥は一切問題とならない。
3. 代理では、本人名を一切示さなくても常に本人に効果が帰属する。
4. 承諾は、申込みを受け入れる意思表示である。

答え・解説

正答：承諾は、申込みを受け入れる意思表示である。

超簡単な解説：内容を変更した承諾は新たな申込みと扱われることがある。

要点：承諾

Q068 BL3-409

契約の締結・履行 / 履行遅滞 / 形式：4択

次のうち、「履行遅滞」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 履行期に履行可能なのに履行しない場合、履行遅滞が問題となる。
2. クーリング・オフは、すべての売買契約に無期限で認められる。
3. 定款は、会社設立後には一切意味を持たない。
4. 抵当権は、必ず債権者が目的物を占有しなければ成立しない。

答え・解説

正答：履行期に履行可能なのに履行しない場合、履行遅滞が問題となる。

超簡単な解説：履行遅滞では損害賠償や解除が問題となる。

要点：履行遅滞

Q069 BL3-422

契約の締結・履行 / 売買契約 / 形式：4択

次のうち、「売買契約」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 株主は、会社債務について常に無限責任を負う。
2. 所有権は、他人の物を借りる権利にすぎない。
3. 売買契約では、売主が財産権を移転し、買主が代金を支払う。
4. 代理では、本人名を一切示さなくても常に本人に効果が帰属する。

答え・解説

正答：売買契約では、売主が財産権を移転し、買主が代金を支払う。

超簡単な解説：売買は典型契約の一つである。

要点：売買契約

Q070 BL3-423

契約の締結・履行 / 契約不適合責任 / 形式：4択

次のうち、「契約不適合責任」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 年次有給休暇は、法律上どの労働者にも一切付与されない。
2. 動産の所有権移転では、引渡しはどの場面でも無意味である。
3. 売買目的物が契約内容に適合しない場合、買主は追完請求などを検討できる。
4. 債務を履行しなくても、契約責任は一切発生しない。

答え・解説

正答：売買目的物が契約内容に適合しない場合、買主は追完請求などを検討できる。

超簡単な解説：追完、代金減額、損害賠償、解除が問題となる。

要点：契約不適合責任

ビジネス実務法務検定試験3級 - 契約の締結・履行

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q071 BL3-436

契約の締結・履行 / 賃貸借契約 / 形式：4択

次のうち、「賃貸借契約」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 過失とは、故意に相手を害する意思だけをいう。
2. 監査役は、会社の営業担当者を意味する。
3. 賃貸借では、貸主が物を使用収益させ、借主が賃料を支払う。
4. 申込みは、相手方に届かなくても必ず契約を成立させる。

答え・解説

正答：賃貸借では、貸主が物を使用収益させ、借主が賃料を支払う。
超簡単な解説：不動産賃貸借などで重要である。

要点：賃貸借契約

Q072 BL3-437

契約の締結・履行 / 危険負担 / 形式：4択

次のうち、「危険負担」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 抵当権は、必ず債権者が目的物を占有しなければ成立しない。
2. 使用者は、理由なくいつでも自由に解雇できる。
3. 契約成立後の目的物滅失などで、当事者の負担が問題となる。
4. 仮差押えは、債権回収とは一切関係しない。

答え・解説

正答：契約成立後の目的物滅失などで、当事者の負担が問題となる。
超簡単な解説：改正民法では履行拒絶などの関係で整理される。

要点：危険負担

Q073 BL3-450

契約の締結・履行 / 請負契約 / 形式：4択

次のうち、「請負契約」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 請負では、仕事の完成と報酬支払が中心となる。
2. 売買契約では、買主に代金支払義務は発生しない。
3. 著作権は、単なるアイデアそのものを常に保護する。
4. 相殺は、金銭債権同士でも絶対にできない。

答え・解説

正答：請負では、仕事の完成と報酬支払が中心となる。
超簡単な解説：建築・制作などで用いられる典型契約である。

要点：請負契約

Q074 BL3-451

契約の締結・履行 / 定型約款 / 形式：4択

次のうち、「定型約款」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 定型約款は、多数取引に用いる定型的な契約条項である。
2. 定款は、会社設立後には一切意味を持たない。
3. 一度成立した契約は、当事者全員が合意しても解除できない。
4. 表見代理は、相手方が悪意でも常に成立する。

答え・解説

正答：定型約款は、多数取引に用いる定型的な契約条項である。
超簡単な解説：組入れ要件や不当条項の扱いが重要である。

要点：定型約款

Q075 BL3-464

契約の締結・履行 / 委任契約 / 形式：4択

次のうち、「委任契約」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 履行不能の場合も、必ず履行遅滞だけが成立する。
2. 委任は、法律行為をすることを相手方に委託する契約である。
3. 代表者が会社名で契約しても、効果は常に代表者個人に帰属する。
4. 取締役会設置会社でも、取締役会は一切決定権を持たない。

答え・解説

正答：委任は、法律行為をすることを相手方に委託する契約である。
超簡単な解説：準委任は事務処理の委託に用いられる。

要点：委任契約

ビジネス実務法務検定試験3級 - 契約の締結・履行

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q076 BL3-465

契約の締結・履行 / 錯誤 / 形式：4択

次のうち、「錯誤」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 所有権は、他人の物を借りる権利にすぎない。
2. 紛争は、常に裁判以外の方法で解決できない。
3. 解除すると、契約違反の有無にかかわらず損害賠償請求は常に禁止される。
4. 重要な錯誤がある意思表示は、一定の場合に取り消すことができる。

答え・解説

正答：重要な錯誤がある意思表示は、一定の場合に取り消すことができる。
超簡単な解説：錯誤取消しには要件がある。

要点：錯誤

Q077 BL3-477

契約の締結・履行 / 契約自由の原則 / 形式：4択

次のうち、「契約自由の原則」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 少額訴訟は、すべての複雑な国際紛争に無制限で使える。
2. 契約は、内容・相手方・方式などを原則として自由に決められる。
3. 不公正な取引方法は、独占禁止法上まったく問題にならない。
4. 未成年者がした契約は、どのような場合も取り消すことができない。

答え・解説

正答：契約は、内容・相手方・方式などを原則として自由に決められる。
超簡単な解説：ただし強行法規・公序良俗・消費者保護などの制限がある。

要点：契約自由の原則

Q078 BL3-478

契約の締結・履行 / 同時履行の抗弁 / 形式：4択

次のうち、「同時履行の抗弁」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 公序良俗に反する契約でも、書面化すれば常に有効である。
2. 法律上の善意は、道徳的に親切であることをいう。
3. 契約書に書かれていない事情は、信義則上も一切考慮されない。
4. 双務契約では、相手の履行があるまで自己の履行を拒める場合がある。

答え・解説

正答：双務契約では、相手の履行があるまで自己の履行を拒める場合がある。
超簡単な解説：売買代金と目的物引渡しなどで問題となる。

要点：同時履行の抗弁

Q079 BL3-479

契約の締結・履行 / 詐欺 / 形式：4択

次のうち、「詐欺」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 独占禁止法は、すべての競争を禁止する法律である。
2. 法律行為は、事実行為だけで成立し意思表示を必要としない。
3. 詐欺による意思表示は、取り消すことができる。
4. 強迫による意思表示は、被害者の保護対象にならない。

答え・解説

正答：詐欺による意思表示は、取り消すことができる。
超簡単な解説：相手方や第三者詐欺の扱いに注意する。

要点：詐欺

Q080 BL3-491

契約の締結・履行 / 申込み / 形式：4択

次のうち、「申込み」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 申込みは、承諾があれば契約を成立させる意思表示である。
2. 不公正な取引方法は、独占禁止法上まったく問題にならない。
3. 紛争は、常に裁判以外の方法で解決できない。
4. 代理人が契約すると、効果は常に代理人本人にだけ帰属する。

答え・解説

正答：申込みは、承諾があれば契約を成立させる意思表示である。
超簡単な解説：契約成立には申込みと承諾の合致が必要である。

要点：申込み

ビジネス実務法務検定試験3級 - 契約の締結・履行

問題PDF - 左：問題 / 右：答え・超簡単な解説

Q081 BL3-492

契約の締結・履行 / 債務不履行 / 形式：4択

次のうち、「債務不履行」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 抵当権は、必ず債権者が目的物を占有しなければ成立しない。
2. 不動産売買では、登記は第三者との関係で一切意味を持たない。
3. 債務者が契約上の義務を履行しない場合、債務不履行責任が問題となる。
4. 仲裁判断は、当事者に一切効力を持たない単なる助言である。

答え・解説

正答：債務者が契約上の義務を履行しない場合、債務不履行責任が問題となる。

超簡単な解説：履行遅滞・履行不能・不完全履行などがある。

要点：債務不履行

Q082 BL3-493

契約の締結・履行 / 強迫 / 形式：4択

次のうち、「強迫」について正しい説明として最も適切なものはどれか。

1. 質権では、債権者が目的物を一切占有しないことが必須である。
2. 強迫による意思表示は、取り消すことができる。
3. 使用者は、労働者に何時間でも無制限に働かせることができる。
4. 契約書やメールは、紛争時の証拠として一切利用できない。

答え・解説

正答：強迫による意思表示は、取り消すことができる。

超簡単な解説：強迫は自由な意思決定を害するため取消しが認められる。

要点：強迫